



※休診のお知らせ (9/17現在)

10/4 循環器内科

※医師不在のお知らせ (9/17現在)

産婦人科：田邊(優)・・・10/1、10/3、10/10
 森岡・・・10/1、10/7、10/8、10/15
 藤川・・・10/1、10/2、10/8、10/9、10/15、10/16
 光山・・・10/2、10/7、10/9、10/16
 竹内・・・10/2、10/9、10/10、10/15
 宮原・・・10/2、10/10、10/11、10/15、10/16
 北川・・・10/2
 田邊(美)・・・10/3、10/7、10/8、10/16
 石橋・・・10/3、10/4、10/9、10/10、10/11
 牛島・・・10/3、10/4、10/7、10/11
 近藤・・・10/9、10/10、10/11

精神科： 知識・・・10/7、10/21、10/28
 朝枝・・・10/1、10/8、10/15、10/22、10/29
 重光・・・10/2、10/9、10/16、10/23、10/30
 磯村・・・10/22

放射線科：廣瀬・・・10/18

循環器： 鈴木・・・10/17、10/18、10/21

— 医療従事者研修について —

開催日	研 修 名
11月28日(木) 時間 19:00～	第2回KOKURA産婦人科フォーラム(ハイブリッド開催)
10月24日(木) 時間 19:00～	小倉小児科医会臨床懇話会(Web講習会)

— 健康教室について —

「糖尿病健康教室」「産婦人科教室」の開催予定はございません

国立病院機構 小倉医療センター 〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘10-1

【診療科】糖尿病・内分泌代謝内科、血液内科、肝臓内科、消化器内科、循環器内科、整形外科、外科一般・消化器外科、乳腺外科、小児外科、小児科、産婦人科、皮膚科、眼科、精神科、放射線科、臨床検査科、麻酔科

◆ご紹介・研修に関してのお問い合わせは、地域医療連携室をご利用下さい

(病院代表) FAX 093-522-5072 TEL 093-921-8881

(地域医療連携室) FAX 093-921-8892 TEL 093-921-8887(紹介患者専用ダイヤル)





独立行政法人国立病院機構

小倉医療センター外来診療担当表

令和6年10月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	備考
内科一般（新患） 【内線 264】	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	新患担当は、内科系医師の交代制です。
肝臓内科 【内線 208】	佐藤 丈顕	佐藤 丈顕	佐藤 丈顕	國吉 政美	國吉 政美	
血液内科 【内線 208】	武藤 敏孝	高 月 浩	武藤 敏孝	高 月 浩		※血液内科について下記欄外参照ください。
糖尿病・内分泌代謝内科 【内線 264】	的場 ゆか 林 加野 山田 健太郎	今 蘭 直博 堤 田 夏生 阿 部 隼希	的場 ゆか 林 加野 堤 田 夏生	的場 ゆか 林 加野 阿 部 隼希	今 蘭 直博 山田 健太郎 阿 部 隼希	
呼吸器内科 【内線 208】	休 診					
循環器内科 【内線 202】		鈴木 哲	鈴木 哲		◆	新患：連携室へ事前相談(急患不可) ◆他院より派遣医師
消化器内科 【内線 205】	河 邊 顕	村 尾 寛之 林 康 代	河 邊 顕 林 康 代	村 尾 寛之 林 康 代	河 邊 顕 村 尾 寛之	脾胃患は河邊医師が担当。
消化器・一般外科 【内線 205】	鈴木 宏往	田 辺 嘉高 山 田 裕	田 辺 嘉高	堤 宏 介	田 邊 麗子	
乳腺外科 【内線 205】	堤 宏 介	轟 木 秀一 山 田 裕	◇予約のみ	轟 木 秀一	轟 木 秀一	◇印 予約のみ
整形外科	深 川 真吾 長谷川 晃大 安 部 健吾	今 井 稜	深 川 真吾 長谷川 晃大 今 井 稜	長谷川 晃大	深 川 真吾 今 井 稜 安 部 健吾	
小児科（午前） 【内線 209】	◇※牧村 美佳 安永 由紀恵 米 良 智子 中 嶋 敏紀	△安成 大輔 安永 由紀恵 古 賀 大貴 ☆渡辺 恭子 中 嶋 敏紀 ☆緒方 怜奈	◇牧村 美佳 松 永 千恵 河 原 典子 ◎大野 拓郎 ●安永 由紀恵 ◇九大より派遣 (第2・4週)	河 原 典子 中 尾 模吾 米 良 智子 ☆※緒方 怜奈 中 尾 泰介	◎大野 拓郎 河 原 典子 牧 村 美佳 ◎古 賀 大貴 ☆渡辺 恭子 ☆緒方 怜奈 ☆安永 由紀恵	◎循環器外来（予約制） △アレルギー外来（予約制） ☆神経外来（予約制） ◇内分泌外来（予約制） □新生児外来（予約制） ※初診のみ ●予約制 専門外来新患は要電話予約 (9:00-14:30電話受付) 詳しくは病院ホームページ
小児科（午後） 【内線 209】	1か月健診：松永 中 尾 模吾 中 嶋 敏紀 ◎※古賀 大貴 山 喜 多 悠一	※△安成 大輔 中 嶋 敏紀 榎 崎 健太郎 ☆渡辺 恭子 ☆緒方 怜奈	◇牧村 美佳 倉 田 浩昭 湯 浅 千春 ◎大野 拓郎 ☆九大より派遣 (第3週)	1か月健診：福田 田 中 幸一 川 上 勲 ◎古賀 大貴 ☆緒方 怜奈	△米 良 智子 倉 田 浩昭 湯 浅 千春 ◎古賀 大貴 ☆渡辺 恭子 ☆緒方 怜奈 ☆安永 由紀恵	
小児外科 【内線 209】	[手術日] (急患のみ可)	生 野 猛 *生野 久美子 中 村 晶俊 橋 本 佳子	[手術日] (急患のみ可)	◎生 野 猛 生野 久美子 *橋 本 佳子	*生 野 猛 生野 久美子 中 村 晶俊 橋 本 佳子	◎小児泌尿器外来 *印 新患担当 急患は随時対応
産科・婦人科 【内線 204】	宮 原 英之 河 村 京子 *川上 浩介 竹 内 一輝 北 川 麻里江 藤 川 梨恵 石 橋 弘樹	光 山 丈彦 *川越 秀洋 近 藤 恵美 牟 田 満幸 吉 里 俊崇 牛 島 崇 [手術日]	田 邊 優介 河 村 京子 *川上 浩介 森 岡 将来 徳 田 諭道 牛 島 崇樹 石 橋 弘樹	熊 谷 晴介 *川越 秀洋 光 山 丈彦 牟 田 満美 近 藤 恵美 森 岡 将来 藤 川 梨恵	徳 田 諭道 竹 内 一輝 *川上 浩介 田 邊 美紀 北 川 麻里江 宮 原 英之 [手術日]	*印 新患担当 新患は紹介患者様のみ
泌尿器科 【内線 213】	◆	[休診]	[休診]	◆	◆	◆他院より派遣医師
皮膚科 【内線 8080】	土 井 和子 古 森 環	土 井 和子 古 森 環	土 井 和子 古 森 環	土 井 和子 古 森 環	土 井 和子 古 森 環	
眼科 【内線 212】	能 美 典正 海 津 嘉弘 浅 原 裕樹	海 津 嘉弘 浅 原 裕樹 [手術日]	宮 城 美智子 海 津 嘉弘 浅 原 裕樹	能 美 典正 熊野・海津(奇数週) 下川・浅原(偶数週) [手術日]	能 美 典正 海 津 嘉弘 浅 原 裕樹	新患：連携室へ事前予約 急患は事前相談を 火・木は10:00で受付終了
精神科	*磯村 周一 今 村 真帆 知 識 裕喜 朝 枝 翼	*権藤 知子 今 村 真帆 知 識 裕喜 鮫 島 健輔	*知 識 裕喜 磯 村 周一 今 村 真帆 権 藤 知子	磯 村 周一 今 村 真帆 権 藤 知子	*鮫 島 健輔 磯 村 周一 今 村 真帆 権 藤 知子 *重 光 紗文	*印 新患担当 新患は要電話予約 (9:00~14:30電話受付)
放射線科 【内線 231】	野 見 山 弘行	野 見 山 弘行 脇 山 浩明(午後)	野 見 山 弘行	野 見 山 弘行	野 見 山 弘行 高 木 正統(午前)	
耳鼻咽喉科 【内線 8320】	[休診]	◆	[休診]	[休診]	◆	◆九大より派遣医師
消化管内視鏡 【内線 379】	村 尾 寛之 林 康 代	河 邊 顕 國 吉 政美	村 尾 寛之	河 邊 顕	林 康 代	

注)：受付時間：午前8：30～11：00（急患については、この限りではありません）

注)：不在の場合は担当医が変更になることがあります。

注)：詳しくは、病院ホームページをご覧ください。

注)：血液内科診療につきまして、診療体制の都合上、新規の紹介患者様の受け入れに、ご迷惑をおかけする場合があります。

◆国立病院機構小倉医療センター◆

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘10-1

T E L 093-921-8881 / F A X 093-921-8892 (地域医療連携室)

診療科紹介

糖尿病内分泌・代謝内科

- 当科は、糖尿病認定教育施設、内分泌学会認定教育施設、日本肥満学会認定肥満症専門病院であり、糖尿病、内分泌代謝疾患、肥満症に対して専門性の高い診療を行っています。
- 令和元年5月より糖尿病センターを立ち上げ、専門医のみならず、専門的知識のある看護師、管理栄養士、薬剤師、作業療法士、臨床検査技師、事務の多職種からなるチーム医療を行っています。各職種で協力して行う患者会や糖尿病教室、地域にむけた健康教室、フットケアなどを通して患者教育にも力を入れており、地域の先生方との医療連携を行い、糖尿病とともに生きる患者さんの円滑な治療継続に努めています。糖尿病腎症外来で糖尿病腎症の重症化予防に努め、また、小倉第一病院との連携により腹膜透析を導入された患者さんのフォローに関してもチームで対応する体制を整えています。
- 糖尿病診療では約3週間の教育入院を設定しており、現在の糖尿病の代謝状態の把握、糖尿病細小血管合併症や動脈硬化の評価を行い、治療方針を決定します。これを元に、体組成や生活習慣に合わせた食事・運動療法の指導も行っています。多忙な患者さんへの短期間の教育入院、手術を控えた患者さんへの術前血糖コントロール入院なども、状況にあわせて柔軟に対応しています。
- 妊娠糖尿病や糖尿病合併妊娠症例も多く、当院産婦人科とのスムーズな連携の上、適切な治療を行っています。1型糖尿病合併妊娠など血糖コントロールに難渋する症例にも、持続血糖測定（rtCGM, isCGM）やインスリンポンプ療法、Sensor Augmented Pump（SAP）を使用し対応しています。
- 副腎腫瘍・下垂体腫瘍についての精査入院を行っており、内分泌学的負荷試験、CT・MRI・シンチなどの画像検査、副腎静脈サンプリング等の結果を総合的に判断して、診断や治療方針の決定を行っております。
- 当科で診療を行っている主な疾患 ① 糖尿病（1型糖尿病・2型糖尿病・妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠、糖尿病腎症） ② 甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病、など） ③ 副腎疾患（副腎腫瘍、原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫、副腎皮質機能不全症など） ④ 下垂体疾患（下垂体腫瘍、下垂体機能低下症など） ⑤ 副甲状腺疾患（原発性副甲状腺機能亢進症、副甲状腺機能低下症など） ⑥ 性腺疾患（性腺機能低下症、多胞性卵巣症候群など） ⑦ 肥満症（単純性肥満、二次性肥満、高度肥満） ⑧ 脂質代謝異常
- 上記疾患の診療を中心に、月曜日～金曜日は毎日、外来診察を行っています。
- 当院の治療を希望される患者さんのご紹介をよろしくお願い申し上げます。

2023年報用

図1:入院患者数の経年変化

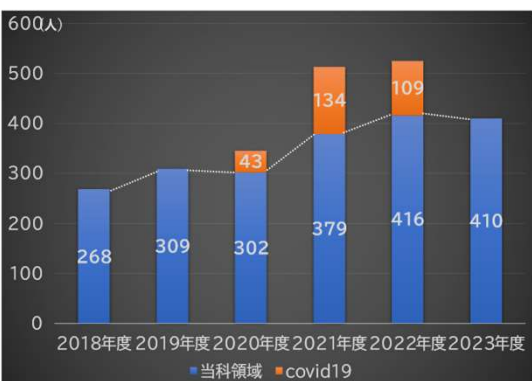
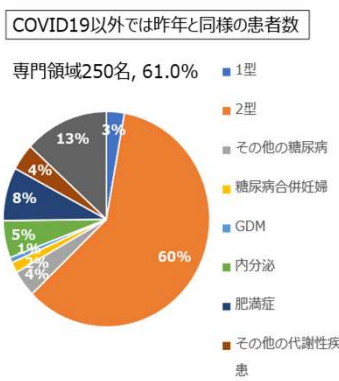


図2:専門領域内訳



基本理念

この街には、この病院があるから住みたいと思われるような病院を目指します

診療科紹介

遺伝カウンセリング

- ◆ 遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）、Lynch症候群など、遺伝子の変化が原因で特定のがんにかかりやすい、遺伝性腫瘍に関わるカウンセリングと診療を行なっています。
- ◆ 臨床遺伝専門医（5名）、遺伝性腫瘍専門医（4名）、遺伝性腫瘍コーディネーター（1名）、乳腺専門医（2名）、婦人科腫瘍専門医（1名）、がん看護専門看護師（1名）で担当しています。
- ◆ ①家系に癌が多くて心配な方への相談と希望される方への遺伝学的検査 ②癌の治療選択でHBOCに関連する遺伝子の検査を行い、遺伝子の変化が確認された方へのカウンセリング ③HBOCやリンチ症候群などが判明した方への検診の計画と、希望する方へのリスク低減手術の案内と実施 ④家族へのカウンセリングと遺伝学的検査を行なっています。
- ◆ 年間約80件のカウンセリングと約60件の遺伝学的検査を行なっています。2020年4月から保険適用となったHBOCの方を対象としたリスク低減乳房切除術は7件、リスク低減卵管卵巣切除術は35件行なっています。
- ◆ カウンセリングや検査は自費診療となりますが、2020年4月よりHBOCに係る診療の一部が保険適用となりましたので、可能な場合は保険診療で行なっています。
- ◆ 家系にがんが多く心配な方、家系に乳がん卵巣がんが複数人いてHBOCが気になる方、大腸がん・子宮体がん・卵巣がん・胃がん・上部尿路癌が家系に多くLynch症候群が気になる方などの相談の窓口になるように努めたいと考えています。地域連携室（093-921-8881）から「遺伝性腫瘍カウンセリング希望」とお伝えください。患者様本人からでも担当の先生からでも、いずれもご相談をお待ちしております。

	出生前遺伝カウンセリング検査	遺伝性腫瘍カウンセリング	小児期/成人期遺伝カウンセリング
外来診療日	毎週 月・水・木曜日の午後	毎週月・水・木曜日の午後	日程については都度ご相談
相談時間	—	原則として1回1時間	原則として1回1時間
自費診療	—	遺伝性腫瘍カウンセリングは自費診療となっております	カウンセリングは自費診療となっております
初診	11,000円(税込)	8,800円(税込)	8,800円(税込)
再診	30分以内:5,500円(税込) 30分以上:8,800円(税込)	3,300円(税込)	3,300円(税込)
妊娠9-15週 母体血胎児染色体検査 (NIPT)	およそ:130,000円(税込) (令和4年5月より)	—	—
妊娠16週以降 羊水検査(1泊2日の入院要)	およそ:100,000円	—	—
遺伝子検査	—	カウンセリングの後、検査の御希望がある場合に施行します (自費)	カウンセリングの後、検査の御希望がある場合に施行します (自費)
御紹介頂く医療機関の方へ	医療連携室までお電話ください。 電話：093-921-8881(代表) (受付時間:月～金 祝祭日を除く 9時00分から14時30分)		

基本理念

この街には、この病院があるから住みたいと思われるような病院を目指します

精神科の治験にご協力をお願い致します！

当院、精神科では**統合失調症**の患者さんを対象としたお薬（週1回服用する錠剤）の治験を行っています。

【急性期試験（プラセボ対照）】

治験の目的

急性期症状を呈する統合失調症患者を対象にプラセボを対照としてブレクスピプラゾール週1回製剤（QW製剤）の有効性や安全性を調べることを目的としています。

治験の対象となる患者様

- ◆ 統合失調症と診断されている患者
- ◆ 18歳以上65歳未満
- ◆ 統合失調症の急性再発があり入院が必要な患者
- ◆ 現在のエピソード期間が2か月以内である患者
- ◆ 過去に抗精神病薬の投与を受けていない間に、症状が再発又は憎悪したことがある患者

★募集予定期間は2022年7月～2025年1月末です。

治験の候補となる患者さまがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。



治験のお問い合わせ先

治験責任医師：精神科 磯村 周一（093）921-8881
（治験管理室：（093）921-8895）